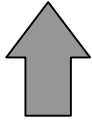


**FAX****「災害避難所宿泊体験塾」参加申込書**

FAX 046-252-0722 (田中)

FAX 046-255-0266 (濱田)

E-mail: zsvn\_info@yahoo.co.jp



氏名	年齢	電話番号	団体・町名

\* 申込時にいただく個人情報は、この「災害避難所宿泊体験塾」の連絡用のみに利用します。

**《 会場案内図 》**

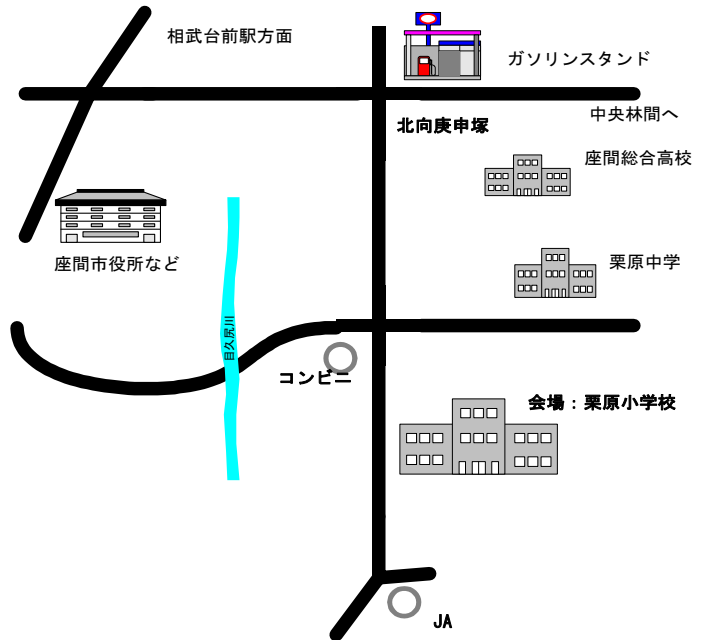
災害を想定して出来るだけ徒歩または自転車で参加してください。駐車場はありませんので車でのご遠慮願います。

**《 参加者のみなさまへ 》**

「災害避難所宿泊体験塾」は、近い将来起こるといわれている大地震で被害を受けた市民の方々の生活のよりどころとなる災害避難所について参加者と一緒に考えようという企画です。

「座間市地域防災計画」に定められている避難所についての記述がどこまで具体的に準備されているか、過去に発生した地震災害から、実際に運営の中から見えてきたさまざまな課題を皆さんと一緒に考えて、座間市の避難所の運営、その仕組みなどの「あるべき姿」を「ワークショップ」を通じて考えることを目的に計画しました。

実際に、夏の最中の体育館での宿泊体験を通じて感じたことなどを整理して座間市の「地域防災計画」の改定に際して市民の意見として提言したいと考えております。これこそが市が提唱している「市民協働活動」だと思います。避難所については、さまざまな問題が内在しています。行政も、市民もその課題に真正面から取り組んできませんでした。東海地震、南関東地震の危険度が高まる中、高齢者や要支援者が増えることなどを踏まえて真剣な取り組みが必要があると考えます。みなさま自身も「自分のこと」として捉えて積極的に参加してください。



ZSVN ざま災害ボランティアネットワーク <http://www.0462.net/blog/zsbn/index.html>

私たちは、市民の立場から、防災・減災活動を行っている団体です。県下には現在 15 の災害ボランティア団体があります。その一員として、座間市を中心に活動を展開しています。

「市民防災講座」「防災・減災体験フェア」「救命講習」「子ども防災・生活体験塾」などを通じて、万一のときに地域の中で「顔が見える関係」によって助け合う仕組みを作り上げようと行政と連携しながら市民の目からの防災行政への提案や減災活動を推進しています。防災・減災は「～するべきだ・・・」といっているだけでも始まりません。先ず、自らが行動することです。地震はどのようにしても防ぐことは出来ません。しかし、備えれば「被害を防ぐ」ことが出来ます。「自助」と「共助」を市内各地域へ展開しましょう。ぜひ、一緒につながっていきましょう。会員募集中です。